



本当に残したい



湿板写真館

MIYAMA
PHOTO STUDIO



一枚の写真



美山フォトスタジオ

湿板写真 *Wet Plate Collodion*

坂本龍馬のポートレート写真を日本初の写真館で上野彦馬が撮影してから約160年。当時と同じ写真技法「湿板写真」でポートレートが撮れる写真館「美山フォトスタジ」が京都美山に誕生しました。湿板写真は、暖かいモトーンと液体薬品によって起こる自然なムラなどが独特の雰囲気を作り出します。薬品調合から撮影現像まですべて手作業ですので、1枚として同じ写真ができることはありません。世界で1枚だけ存在する写真です。「美山フォトスタジオ」では、2カット撮影しますので、お好きな方を1枚お選び頂けます。お写真は現場で見て頂けますが、乾燥とニス塗りがありますので後日、



手作りの写真入れに収めて郵送(無料)にてお渡します。また、オプションにて、京都の職人さんによるオーダーメイドの手作り高級桐箱にお入れて納品することも可能です。密閉性の高い印籠箱ですので、お写真を乾燥や湿度から守って長期保管して頂けます。また桐のフレームと立ても付いておりますので、桐箱をそのまま壁や卓上などに飾って頂くこともできます。築110年の蔵を改修した「美山フォトスタジオ」は、アナログ専門のスローフォト写真館です。湿板写真以外にも、ポラロイドトランスファーや銀塩モノクロのポートレート撮影も行っています。詳細はHPをご覧ください。

湿板写真 撮影料金 (税込)

クォーターサイズ (76x102mm)	¥19,800
ハーフサイズ (102x127mm)	¥22,000
2Lサイズ (127x178mm)	¥24,200
フルサイズ (159x203mm)	¥26,400
=完全予約制=	

「湿板写真」ってなに？

フィルムがまだ存在しなかった1851年にイギリスで発明されました。薬液をガラス板(アンプロタイプ)やアルミ板(ティンタイプ)に塗って「濡れた状態の板」をフィルムの代わりにして写真を撮ります。日本では、江戸時代末期に上野彦馬が真っ先に湿板写真を習得し、1862年に長崎で日本初の写真館を開業し、坂本龍馬や高杉晋作などの幕末時代の人たちのポートレートを撮影しました。美山フォトスタジオではティンタイプ湿板写真になります。

写真家 *The Photographers*

TORU MORIMOTO



兵庫県出身。長年ドキュメンタリー写真家として世界で活躍してきた。第10回上野彦馬賞受賞。近年、プラチナプリントや湿板写真といった古典写真技法で作品を創作する。2020年、プラチナプリント写真集「SHIZEN」がイタリアの出版社から出版される。

TINA BAGUE



バルセロナ出身。トラベルフォトグラファーとして世界中を撮影する。スペインの写真雑誌の編集長としても活躍した。2011年に写真集「JAPAN/日本」がバルセロナの出版社から出版される。



〒601-0761 京都府南丹市美山町高野元風呂7番地 - Tel. 070-4414-5543

www.miyamaphotostudio.com